

# 平泉町教育大綱

平 泉 町

(令和 6 年度～令和 10 年度)

# 平泉町教育大綱

## はじめに

現代社会は、人口減少、少子高齢化、そして、情報化やグローバル化、価値観の多様化等、大きく変化してきています。

そのような現状にあって、持続可能な日本、岩手、平泉の実現に向けた人材育成、地域や家庭で共に学び支え合うために、教育が持っている価値と役割が今後ますます重要になっており、その土台となる学校教育の向上や社会教育の充実が求められています。

私たちの町平泉の教育は、まちづくりの基盤である「平泉への愛着と誇りの醸成」をめざし、地域の課題を明らかにし、地域の力を活かしながら、子どもたちの多様な個性と能力を磨き、地域を担い支え合いながら持続可能なまちづくりを進めます。その実現に向けての「学校教育」「家庭教育」「社会教育」を進めるとともに、「過去に学び、今を見つめ、未来を考える平泉学」と平泉ならではの「文化振興」に積極的に取り組むことを柱とし教育の大綱を策定します。

## 【基本理念】

一人ひとりが輝き、幸せを実感できるまちの実現

《基本目標及び重点施策》

### 学校教育

生きる力を育む学校教育の推進

- 確かな学力の育成
- 豊かな心の育成
- 健やかな体の育成
- 個に応じた教育の推進

### 家庭教育

子どもの暮らしと学びを育てる家庭教育力の向上

- 子育てのための学び合いと仲間づくり
- 情報化社会における生活習慣づくり
- 家庭と地域と学校とのつながりづくり

### 社会教育

つどい・学び・つながる社会教育の充実

- 学習交流施設を活用した学びと交流の促進
- 地域課題を考え合う学びの場づくり
- ライフステージに応じた生涯スポーツの振興

## 平泉学

過去に学び、今を見つめ、未来を考える「全世代型平泉学」

- 幼保小中で取り組む系統的な平泉学
- 世代を超え地域で学ぶ平泉学

## 文化振興

文化遺産の継承と芸術文化の振興

- 文化遺産の価値を学び、守る人材の育成
- 多様な文化活動を活用したまちづくり
- 文化財調査・研究の推進
- 文化遺産を活かした地域振興

期間：令和6年度から令和10年度までとする